

# 2017年度 弥生博 木曜大学

昨年に開館 25 周年を迎えた当館は、これまでに多様な展示テーマを扱ってきました。  
 昨年度は1日の来館者数が多かったベスト18の特別展をご紹介しましたが、今期は前回取り上げなかった展示内容に再チャレンジ！  
 当館館長 黒崎 直 と 副館長 秋山浩三 が  
 ユーモアたっぷりに、最新の研究成果も盛り込みながら、講義を展開します。  
 あなたも「木大5期生」になって、考古学を探究してみませんか？ 多くの方々の受講をお待ちしております。

## テーマ「再挑戦、弥生博！」

◆=第3・5・8・11・13・17講は黒崎直館長、  
 ◇=第1・2・4・6・7・9・10・12・14～16・18講は秋山浩三副館長 が担当いたします。

### 前期【夏の講義】

ミュージアム ギャラリー期間	◇第1講	6月1日	「縄紋の祈り・弥生の心ー森の神から稲作の神へー」
ミュージアム ギャラリー期間	◇第2講	6月8日	「弥生創世記ー検証・縄文から弥生へー」
ミュージアム ギャラリー期間	◆第3講	6月15日	「縄文の世界像ー八ヶ岳山麓の恵みー」
特別展期間	◇第4講	7月6日	「サンゴ礁をわたる碧の風ー南西諸島の中の弥生文化ー」
特別展期間	◆第5講	7月13日	「MASKー仮面の考古学ー」
特別展期間	◇第6講	7月20日	「北陸の玉と鉄 弥生王権の光と影」
特別展期間	◇第7講	8月3日	「稲作とともに伝わった武器」
特別展期間	◆第8講	8月10日	「古代の木の道具ーここまでできた保存技術ー」
特別展期間	◇第9講	8月17日	「卑弥呼の音楽会ーま・つ・り・の・ひ・び・きー」

### 後期【秋・冬の講義】

常設展のみ	◇第10講	10月5日	「弥生画帖ー弥生人が描いた世界ー」
特別展期間	◆第11講	10月12日	「倭人がみた龍 龍の絵とかたち」
特別展期間	◇第12講	10月19日	「卑弥呼の宝石箱ーちょっとオシャレな弥生人ー」
特別展期間	◆第13講	11月9日	「弥生建築ー卑弥呼のすまいー」
特別展期間	◇第14講	11月16日	「仙界伝説ー卑弥呼の求めた世界ー」
特別展期間	◇第15講	11月30日	「弥生都市は語る 環濠からのメッセージ」
常設展のみ	◇第16講	12月7日	「王の居館を探る」
常設展のみ	◆第17講	12月14日	「弥生文化研究への熱いまなざし 森本六爾、小林行雄と佐原真」
常設展のみ	◇第18講	12月21日	「大和王権と渡来人 三・四世紀の倭人社会」

計14講以上の聴講生には、**記念品があります！**  
 さらに、計16講以上の聴講生には、**受講単位認定証**  
**を贈呈！！**  
 (なお、連続受講できなくても、そのつどお楽しみいただけます)

#### <各回とも>

時 間：午後2時30分～午後4時  
 (午後2時から受付)

定 員：170名  
 (当日先着順・開館時より整理券配付)

聴講料：無料(下記の入館料が必要です)


常設展のみ ミュージアムギャラリー期間 入館料：一般310円、高大生・65歳以上210円  
 特別展期間 入館料：一般650円、高大生・65歳以上450円

※中学生以下、障がい手帳をお持ちの方と、その介助者1名様は無料


20名様以上の団体は団体割引料金

※年間パスポート(年間共通入館券)もあります。

一般2100円、高大生・65歳以上1400円

ACCESS  
 JR 阪和線「信太山」駅下車西へ約600m  
 南海本線「松ノ浜」駅下車東へ約1,500m

【大阪方面からお越しの場合】  
 JR天王寺駅から和歌山方面行(阪和線)快速電車にご乗車になり、鳳(なとり)駅で普通電車にお乗換えください。  
 大阪駅からお越しの場合は、「関空・紀州路快速」をご利用になると便利です。  
 鳳から3駅目が信太山(しのたけ)駅です。

 国道26号「池上町」交差点南西角  
 P普通車72台(無料)



卑弥呼と  
 出会う博物館

 大阪府立弥生文化博物館  
 大阪府和泉市池上町4-8-27 TEL.0725-46-2162  
<http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/>